

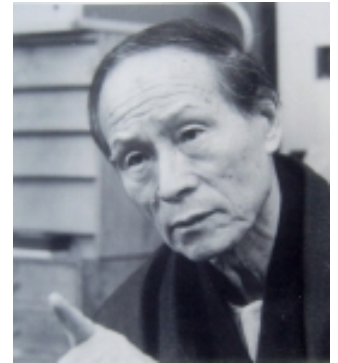
「旧校歌」 昭和 59 年建立（石碑 71cm×103cm）

「長野県伊那弥生ヶ丘高等学校」 学校正門 昭和 58 年 5 月 28 日

校舎竣工及び創立 70 周年記念事業

「創造」 70 周年記念事業に参加を頂き、創造の揮毫も賜る

上條信山 明治 40—平成 9（1907-1997）



信山先生の業績は、①書業、②書教育、③国際親善の三つが特筆されます。

上條先生は明治40年9月20日信州の松本市神林に生まれました。主な作品は信山先生作品ギャラリーで掲載しますが、先生は書の制作に携わる一方、戦後小中学校から姿を消した書教育の復活運動と、その発展に尽力されました。

また、書のふるさと「中国」には特に熱い思いを寄せられておりました。

中国に留学した先生自身の師である宮島詠士先生(1867～1943)と張裕釗(ちょうゆうしょう:号は廉卿)先生(1823～1894)のあつい師弟の情誼に心打たれ、中国でその美しい姿を保定市(河北省)、鄂州市(湖北省)の両市に二人の顕彰碑を建て、中国から高い信望を得られています。

更に日本の書を外国に理解させようと十数カ国を歴訪し、遂に書が「東洋独自の純粹抽象造形芸術」ということを諸外国の芸術家に認識させています。

こうした業績顕著により「文化功労者」の顕彰を受け、「正四位勲三等瑞宝章」を与えられました。先生は90歳・平成9年に逝去されました。

<書象会 HP 上條信山先生紹介より>